

IT×医療×公共×AIの プロフェッショナルがここに

「すべては、ひとから」社会インフラを支えるひとがいる

株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター

代表取締役社長 池 惠二氏

日本ビジネスデータプロセッシングセンターは、神戸におけるIT・情報サービスのパイオニアとして1968年2月に創業した。コンピュータが電子計算機と呼ばれた時代から50年以上にわたりIT・情報サービスに関わる研鑽を積み、時代に応じた技術革新に取り組むことで、変化の激しい社会ニーズに添えてきた。

「データエントリー」というデータ入力業務から事業をスタートした同社であるが、現在は「ITソリューション事業」、「医療関連事業」、「公共福祉事業」、「AI・ロボティクス・IoT事業」の4つの事業を柱とし、これら専門分野で質の高いサービスを提供し、今では自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

にも取り組んでいる。

■事業の転換期は医療関連分野への参入

創業当時は重工業を中心とした地元大手企業が、業務のコンピュータ化を進めていた時代であり、同社はこういった大手企業のデータ入力業務を主に請け負っていた。データ入力の知識と経験を重ねる中で、新たに神戸市の総合病院の会計入力業務の依頼が舞い込んだ。「診療報酬請求など病院における会計入力の仕事であり、それまで手がけていたデータ入力とは異なった経験のない分野だった。大きな決断だったが、挑戦する道を選んだ」と池恵二社長は事業の転換期を振り返る。これをきっかけに、その後は診療報酬請求のみならず受付業務も手がけるなど業務を拡大し、医療関連分野への参入を加速した。

こうした取り組みによりノウハウを蓄積、知識を向上する中で、2003年頃、神戸市から公共福祉関連業務として、介護保険に関わる仕事の依頼を受けた。この介護保険に関わる業務には、保険請求から要介護認定の審査・結果通知など専門的な知識が必要となる。神戸市が日本ビジネスデータプロセッシングセンターに白羽の



▲医療事務業務およびDXも支援する



▲顧客に寄り添ったシステム開発で高い評価を得る



池 恵二 Ike Eiji

岡山県津山市出身。高校卒業後、名古屋の商社での勤務を経て、1968年、創業間もない日本ビジネスデータープロセッシングセンターに入社。1991年、代表取締役社長に就任し、現在に至る。専門的な医療事務（診療報酬）分野にも挑戦し、これまでのシステム事業のみから業容拡大を図ったことは経営の大きなターニングポイントだったと振り返る。「あきらめずに進んでいくこと」を大切にす。趣味は仲間とのゴルフ。

Corporate philosophy

『誠実謙虚・信頼創造・遊々精励』
『笑顔でつなぐ仲間と未来』

会社 DATA

住所 〒650-0032
神戸市中央区伊藤町119
創業 1968年2月
事業概要 ITソリューション、医療関連事業、公共福祉事務事業、AI・ロボティクス・IoT事業
URL <http://www.nihon-data.jp/>

IT・情報サービスの提供といった、社会における重要な情報インフラを担う同社の経営理念は「誠実謙虚」「信頼創造」「遊々精励」である。中でも「遊々精励」は遊ぶ時は遊ぶが、やる時はやるといった自由な社風をつくり上げている。「可能性のあるものに対しては、難しいことは考えずトライしてみようという姿勢を貫いてきた。非常に根気強く経営に取り組んできたと思う。また、人との出会いにも恵まれた」と続ける。2021年度のスローガン「質を極めて信を得よ」をテーマに、創業100年を見すえる。

■経営理念は誠実謙虚・信頼創造・遊々精励

日本が直面する少子高齢化や労働力不足などの社会問題を解決するためのDX促進学習プラットフォームとして開発。真のDXを実現できる技術と人材の育成を推進している。

stem) 学習教材の「TOMOT-Aro1」である。

同社の売上はメイン3事業（ITソリューション・医療関連事業・公共福祉事業）でほぼ均等ではあるが、今後は企業として多様性を確立するとの考えから、AI・ロボット分野での取り組みに力を入れる方針だ。新規事業として立ち上げた「AI・ロボティクス・IoT事業」では、まずはIT人材の育成・教育を軸とした事業を展開していく方針である。

現在、小学校向けプログラミング教材から、大学・高等専門学校向け先端技術人材育成教材まで多様な教材づくりを手がけるが、中でも注目されるのがROS (Robot Operating System)

■AI・ロボティクス・IoTに注力

矢を立てたことは、経験と知識、実績を有する同社の強みが評価されたことの証である。「派遣業のみ、医療事務のみを手がける会社は沢山ある。しかしながら、当社のようにITも手がける、医療関連・公共福祉も手がけるといような会社は少ないと思う」と池社長は自社の強みをこう評価する。介護の認定事務であれば、国内トップシェアであり、神戸市の業務請負を皮切りに、今では全国自治体の様々な業務運営やDXを支援している。



▲学習教材「TOMOT-Aro1」の提供で先端技術人材育成を支援する